



平成 29 年 12 月 12 日
九州地方整備局
立野ダム工事事務所

立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 11 報】 ～理解を深めて頂くための取り組み～

○立野ダム建設事業について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組みを継続的に行っておりますので、その状況をお知らせいたします。

【最近の取り組み】

- 1) 平成24年九州北部豪雨及び平成28年熊本地震で被災した白川の復旧・復興対策の実施状況について、白川流域にお住まいの方を対象に7月から12月にかけて4回現地見学会を行いました。(別紙1)

なお、現地見学会については、今後も引き続き開催する予定です。詳細については改めてお知らせします。

- 2) 南阿蘇村、大津町の議員や大津町にお住まいの方などに現地説明を行いました。(別紙2)
- 3) 平成29年11月23日(木・祝)に南阿蘇村の小学生や工事関係者のほか総勢92名の参加のもと、「立野ダム」^{みしょう}実生の森育成プロジェクトを始動。事業区域の法面緑化を目的に、立野ダム周辺に原生する樹木(幼木)等を工事区域から採取し、事業区域に苗植え、種まきを行いました。(別紙3)

○今後も県や市町村と連携し、理解を深めて頂くための取り組みを行ってまいります。

【問い合わせ先】

- (1, 2に関する問い合わせ) 国土交通省 九州地方整備局 TEL: 092-471-6331 (代表)
河川部 河川計画課長 坂井 佑介 (内線 3611)
- (3に関する問い合わせ) 国土交通省 立野ダム工事事務所 TEL: 096-385-0707 (代表)
技術 副 所 長 安田 豊生 (内線 204)

○平成24年九州北部豪雨及び平成28年熊本地震で被災した白川の復旧・復興対策の実施状況について、白川流域にお住まいの方を対象に7月から12月にかけて4回現地見学会を行いました。

・第1回 7月29日(土)開催(15名)

・第3回 9月23日(土)開催(8名)

・第2回 8月26日(土)開催(11名)

・第5回 12月 2日(土)開催(14名)

※第4回は台風接近に伴う降雨により中止

○なお、現地見学会については、今後も引き続き開催する予定です。詳細については改めてお知らせします。



第3回現地見学会の状況



第5回現地見学会の状況

○熊本地震による被災状況や現在までの復旧状況及び技術委員会での検討内容等について、以下の方々に現地説明を行いました。

- ・平成29年11月14日 南阿蘇村の議員等の皆さま(7名)
- ・平成29年11月19日 土木の日バスツアーに参加の皆さま(71名)
- ・平成29年11月22日 大津町の議員、大津町にお住まい等の皆さま(41名)
- ・平成29年11月23日 城南町婦人会他の皆さま(17名)
- ・平成29年11月28日 大津町にお住まい等の皆さま(25名)



南阿蘇村の議員等の皆さまの視察の様子



土木の日バスツアーに参加の皆さまの視察の様子



大津町の議員、
大津町にお住まい等の皆さま視察の様子



城南町婦人会他の皆さまの視察の様子



大津町にお住まい等の皆さまの視察の様子

「立野ダム」実生の森育成プロジェクト始動

～熊本地震からの創造的復旧・復興にむけて～

別紙3

○平成29年11月23日(木・祝)に南阿蘇村の小学生や工事関係者のほか総勢92名の参加のもと、「立野ダム」実生の森育成プロジェクトを始動しました。

○「立野ダム」実生の森育成プロジェクトとは、「阿蘇・くじゅう国立公園」に位置している立野ダムの事業区域周辺で、景観・環境に配慮した事業実施及び熊本地震からの創造的復旧・復興の取り組みとして、広葉樹を播種・育苗※し、森を再生していくプロジェクトです。

○今回は、立野ダム周辺に原生する樹木(幼木)等を工事区域などから採取し、事業区域に苗植え、種まきを行いました。

○今後も、南阿蘇村など関係機関と連携し、継続的に播種・育苗を行うとともに、小学生をはじめとした「環境学習の場」となるよう「立野ダム」実生の森育成プロジェクトに取り組んでいきます。

※播種とは「種をまく」ことで、育苗とは「苗木を育成する」こと



育苗の木々、苗植え方法等の説明状況



苗植えの状況

(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

- ・ 7 月 6 日 河川内にアプローチするための道路の復旧完了
- ・ 11 月 11 日 ダムサイト上流の準備工事用仮橋の復旧完了
- ・ 11 月 15 日 復旧したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、左岸工事用道路工事に着手
- ・ 12 月 27 日 左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に着手
- ・ 2 月 22 日 ダム本体工事及び復旧工事に利用する工事用仮橋工事に着手
- ・ 3 月 27 日 左岸斜面对策工に着手
- ・ 6 月 29 日 工事用仮橋完成
- ・ 9 月 1 日 立野ダム本体着工に向け、仮排水路トンネルの工事に着手

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

○平成 28 年熊本地震の規模が大きかったことを踏まえ、地震後のダムサイト予定地の基礎岩盤の状況、第四紀断層の状況、湛水予定地周辺斜面の状況を中心に調査・検討し、立野ダム建設に係る技術的な確認・評価を行うことを目的として設置した、「立野ダム建設に係る技術委員会」（活断層の専門家や総合土砂管理の専門家などの各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等の結論を得ました。

なお、本技術委員会の内容について、現地見学会等でもご説明しています。

○平成 29 年 10 月 31 日に国土地理院より公表された 2 万 5 千分 1 活断層図「阿蘇」を踏まえたとしても、「委員会」の第四紀断層に係る技術的な確認・評価に変更がないことを確認しました。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

○委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所で設置・配布しています。

○「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所で閲覧しています。

○委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課
TEL：096-385-0707（代表）
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

○委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。

- ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま） 37 名
- ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま） 38 名
- ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま） 35 名
- ・ 10 月 12 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 3 名

(参 考)

- ・ 10 月 13 日 景観、環境保全等に関する学識者 1 名
- ・ 10 月 14 日 阿蘇市（市長及び職員の皆さま） 3 名
- ・ 10 月 18 日 熊本県（知事及び職員の皆さま） 6 名
- ・ 11 月 15 日 阿蘇火山博物館学術顧問
- ・ 11 月 25 日 熊本県（県議会建設常任委員会の全ての議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、
職員の皆さま） 18 名
- ・ 11 月 27 日 熊本市（市長及び職員の皆さま） 9 名
- ・ 12 月 7 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 7 名
- ・ 12 月 10 日 熊本青年会議所等の皆さま 約 50 名
- ・ 5 月 15 日 熊本県（県議会建設常任委員会の議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、
職員の皆さま） 18 名
- ・ 5 月 22 日 南阿蘇村（村長及び職員の皆さま） 5 名
- ・ 6 月 30 日 報道関係者
- ・ 7 月 14 日 南阿蘇村（村議会議長、副議長、立野ダム建設特別委員会の委員、村長、職員の皆さま） 13 名
- ・ 7 月 29 日 第 1 回 白川の復旧・復興対策現地見学会（白川流域にお住まいの方） 15 名
- ・ 8 月 4 日 大津町（議会議長、議員、大津町内 16 地区の区長の皆さま） 21 名
- ・ 8 月 22 日 南阿蘇村（立野地域振興むらづくり協議会の皆さま） 10 名
- ・ 8 月 24 日 菊陽町（町長及び職員、町議会議員、区長の皆さま） 29 名
- ・ 8 月 26 日 第 2 回 白川の復旧・復興対策現地見学会（白川流域にお住まいの方） 11 名
- ・ 9 月 4 日 大津町議員等の皆さま 18 名
- ・ 9 月 23 日 第 3 回 白川の復旧・復興対策現地見学会（白川流域にお住まいの方） 8 名
- ・ 11 月 14 日 南阿蘇村（議員、職員の皆さま） 7 名
- ・ 11 月 19 日 土木の日バスツアーに参加の皆さま 71 名
- ・ 11 月 22 日 大津町（議員、大津町にお住まいの方、職員の皆さま） 41 名
- ・ 11 月 23 日 城南町婦人会他の皆さま 17 名
- ・ 11 月 28 日 大津町（大津町にお住まいの方、職員の皆さま） 25 名
- ・ 12 月 2 日 第 5 回 白川の復旧・復興対策現地見学会（白川流域にお住まいの方） 14 名

○立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所に説明パネルを設置しました。

○治水パネル展等において、立野ダムに関するパネルを展示しました。

- ・ 11 月 5 日～18 日 白川地域防災センター 白川わくわくランド（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11 月 7 日～11 日 熊本県庁（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11 月 7 日～18 日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11 月 23 日～12 月 1 日 おおづ図書館（大津町：治水パネル展）
- ・ 12 月 5 日～16 日 杉並木公園管理センター（菊陽町：治水パネル展）
- ・ 1 月 29 日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 3 月 5 日 熊本市国際交流会館（熊本市：防災・減災シンポジウム）
- ・ 5 月 23 日～6 月 6 日 くまもと県民交流会館パレア（熊本市：白川治水パネル展）

○立野ダムにおける洪水調節の一連の流れや、流木等捕捉施設の機能をわかりやすく説明した新しい動画を立野ダム工事事務所ウェブサイトに掲載しました。

(参 考)

○平成 29 年 11 月 23 日に南阿蘇村の小学生や工事関係者ほか総勢 92 名の参加のもと、「立野ダム」実生の森育成プロジェクトを始動し、事業区域の法面緑化を目的に、立野ダム周辺に原生する樹木（幼木）等を工事区域から採取し、事業区域に苗植え、種まきを行いました。

※これまでの取り組みは、

「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第 1 報】～【第 6 報】」、

「立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 1 報】～【第 10 報】」

「平成 28 年熊本地震から 1 年～復旧の歩みをまとめました～＜河川事業関係＞」
で公表しています。